

第11回お庭の生きもの調査2025 6月速報

結果概要

- 2025年6月の調査では、2つの調査で合わせて全16目49科77種が確認されました。
- 5月よりも27種増加し、新たに報告された種は54種でした。今年度初めてバッタの仲間が確認されたほか、クモの仲間の報告が増加しており、春に生まれた生きものたちが成長した様子が観察されました。
- 小さな昆虫類の報告が増えており、調査員の技術向上が伺えました。
- 国内で2017年ごろから確認され始めた外来種チュウゴクアミガサハゴロモの成虫や幼虫が、4庭（すべて東京都）で確認されました。



写真 イボバッタ（幼虫）
調査員提供



写真 チュウゴクアミガサハゴロモ
調査員提供

調査の目的

個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。

調査の概要

- 調査期間： 2025年6月1日～30日
- 調査員登録数： 65件（2025年7月10日時点）
- 調査庭数： 11庭
- 報告件数： 134件

表1 都道府県別調査員登録数

北海道	0	東京都	15	滋賀県	1	香川県	2
青森県	0	神奈川県	2	京都府	1	愛媛県	0
岩手県	0	新潟県	0	大阪府	3	高知県	1
宮城県	2	富山県	0	兵庫県	0	福岡県	1
秋田県	0	石川県	0	奈良県	2	佐賀県	0
山形県	0	福井県	1	和歌山県	1	長崎県	2
福島県	1	山梨県	3	鳥取県	0	熊本県	0
茨城県	4	長野県	2	島根県	0	大分県	1
栃木県	1	岐阜県	1	岡山県	0	宮崎県	0
群馬県	2	静岡県	1	広島県	0	鹿児島県	0
埼玉県	6	愛知県	3	山口県	0	沖縄県	0
千葉県	4	三重県	1	徳島県	1	合計	65

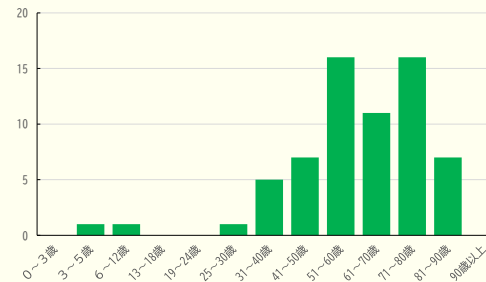


図1 年代別調査員登録数

お庭の特徴

- ほとんどの庭は1階の地表面にあるものでした。
- 人工地盤や小規模な水場がある庭が多かったです。

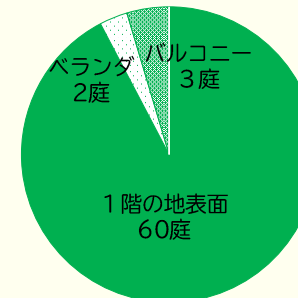


図2 お庭の種類

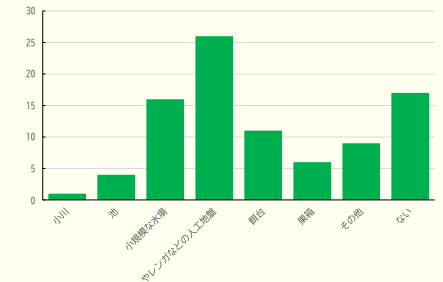


図3 お庭にあるもの

はじめてのお庭の生きもの調査 調査結果

結果概要 (図4)

- ・「見た」報告はクモの仲間が最も多く、3庭すべてで見られました。
- ・次いで、スズメ、白いチョウの仲間、黄色いアゲハチョウの仲間、アリの仲間、トンボの仲間、カタツムリ・ナメクジの仲間の報告が多かったです。
- ・ショウリョウバッタとトンボの仲間は、この調査のみで確認されました。

調査の概要

- ・調査期間： 2025年6月1日～30日
- ・調査庭数： 3庭
- ・報告件数： 3件
(2025年7月10日時点)

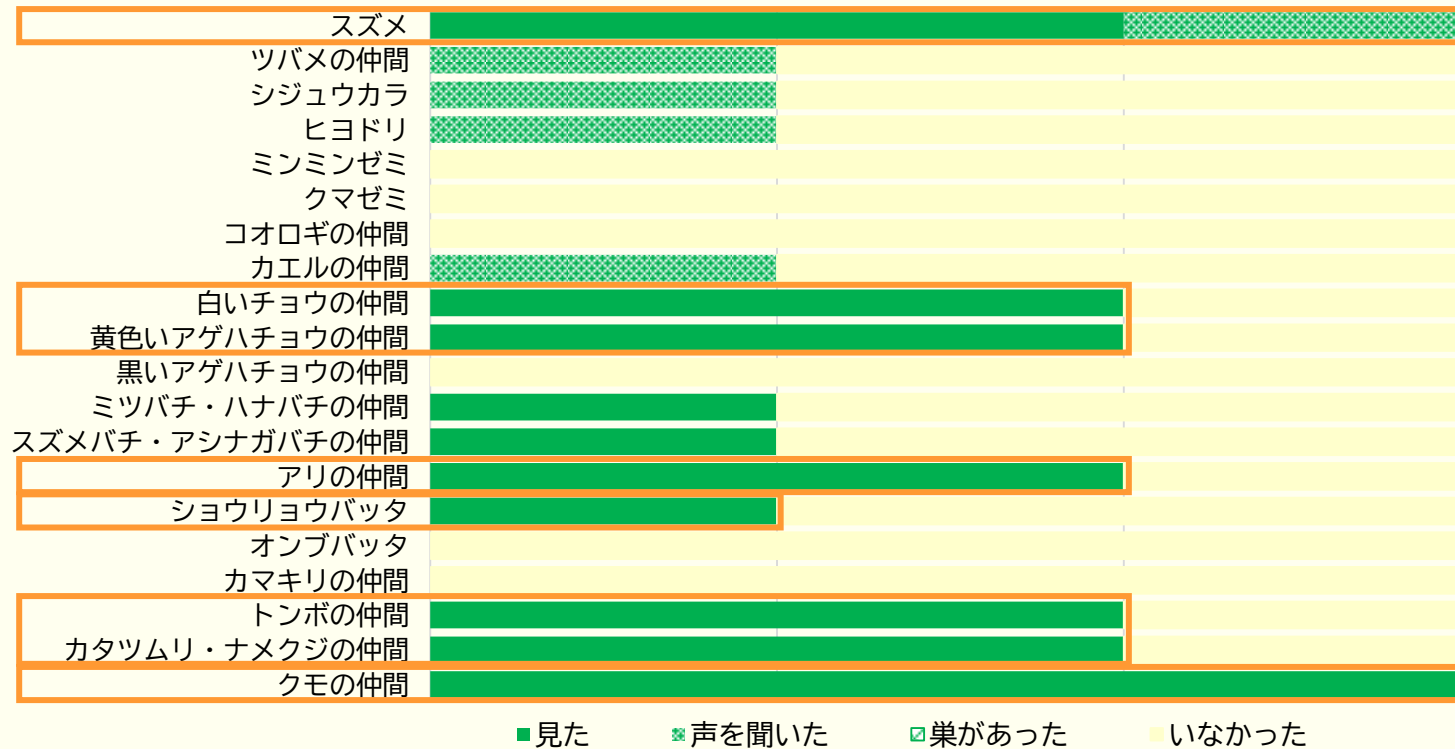


図4 はじめてのお庭の生きもの調査 各調査項目の報告内訳



写真 ササグモ
調査員提供



写真 アミメアリ
調査員提供